

花びと通信



No.23 2015年3月10日

花とひとのネットワーク実行委員会

市民公開講座「園芸療法」～生活に生かす花と緑～

日時：11月22日 13:45～15:45

場所：千葉中央コミュニティセンター 6階ホール

講師：岩崎 寛先生

参加人数 94名

昨年に続き岩崎先生の「園芸療法」の講座を受講しました。今回は、人間の自然治癒能力と緑の深い関係を解り易くお話いただきました。はじめに、園芸療法は「ケア」です。植物は有効で心身を元気にしてくれます。心の病気は薬で治るものではなく、自分自身で治していく。緑の癒し・・・最近、ようやく医学会が認めてきましたと話されました。



「緑による癒しのメカニズム」の病院・ホスピス・介護施設等々の場所での画期的な効用の説明に沢山の方々が真剣にスライドに見入っていたのが印象的でした。

支援学校では、植物を植えた直後に、靴で踏んでいた子供も、育てていく過程で声をかけ葉を優しく撫でる姿を見られた事や、身体機能のリハビリ施設では、一人では出来なくても介助と一緒に植物を育てる事により心をほぐし、社会復帰やコミュニケーションが出来るようになった実例を話してくださいました。

園芸療法を実施する場として、世界的にもよく知られる大規模な植物園であるシカゴ植物園には、園芸療法を学ぶ施設や庭があり、その入り口には「可能な庭」という看板が掲げられ～枯葉のすすれる音をきいて～という手書きのメッセージが書かれていたそうです。冬休みを利用してはるばる訪れた庭は休園で外から施設や庭を見たかぎりでも、様々な工夫も見る事が出来たそうです。

「緑のそばで過ごしたい」「緑を一鉢でもそばに置きたい」という衝動、欲求は自然なことなのだと再認識しました。緑が大きな意味で自分への（CUREではなく）CAREであることも納得しました。

清水章子

総会＆茶話会のお知らせ

日時：4月16日（木） 午後1時30分

場所：千葉市国際交流プラザ（文化センター 8階）

総会終了後 茶話会 お話「この実 なんの実」

講師：鈴木康博さん（会員・千草台公民館館長）

東郷健二



日比谷公園は、何度か散策したことはありますが、花のイベント会場に行ったのは初めてでした。どの作品を見てもレベルが高く、出品する企業や学校、個人の意気込みが感じられました。

特に、ライフスタイルガーデン部門は、ベランダガーデンから名称が変わり、室内から外に向かってのガーデニングは、工夫が感じられました。ガイドさんが付いたので、大会の意義やコンテストの選出方法などが解り、大変参考になり創作意欲が出てきました。一日かけてじっくりと見たいと思いました。

目黒天空公園は、目黒川の桜並木に隣接した場所にあるとは知らず、4月に目黒川の桜まつりに来た時には、全然気づかず、Uターンをしてしまった事が悔やまれました。ビルの10階程の高さにある天空公園は上に登ってしまうと普通の立派な公園で、高い所に作られているとは感じられませんでした。目黒区の職員の説明によると、面積7,000㎡に盛土が5,000tをもこの屋上に運び込まれたという事で、大変な苦労があったように思いました。10月で、あまり花等は咲いていませんでしたが、和風庭園を基本にして広場や花木、果樹、野菜等もあり、いつ来ても楽しめるように工夫されていました。今度は、目黒川が桜色に染まった頃に、天空公園に来たいと思いました。

小岩勝子

午後から雨という予報で空模様が気がかりでしたが、時折少し雨がぱらつく程度で支障なく日比谷公園で行われたガーデニングショウと目黒天空公園めぐりが出来ました。

日比谷公園ガーデニングショウは、今年で12回目ということで、何の予備知識もないまま参加しましたが、ライフスタイル、コンテナガーデン、ハンギングバスケットの各部門に分かれ全国各地から参加したそれぞれ出品者の創意工夫を凝らした作品は本当に見事でした。賞を取った作品を中心に各部門ごとにガイドがついて説明をしてくれましたので、各作品の見方にも深みをまして見る事が出来ました。



私が特に興味を持ったのは、ハンギングバスケット部門です。60×70センチの限られた枠内に色彩やかたち雰囲気のある草花がぎっしりと埋め込まれ、作者の思いが伝わってきました。

日比谷公園内にある素敵なレストランで軽いランチを頂き、その後目黒天空庭園に移動し



ました。ここは江戸時代に大名屋敷が多くあり、富士山が望める場所でもあったことから高速道路のジャンクションを作るにあたって、環境を考え地域のシンボルとして、ループを生かし回遊式の屋上庭園を計画し、昨年完成したという事でした。目黒区の職員の方が丁寧にガイドしてくださいました。かなり長い距離を緩いカーブを描きながら、和風モダンの雰囲気ではいろいろな樹木、花木が植栽され、タイワン椿の花など珍しい花木もたくさん植えられていました。

た。季節ごとに楽しめるように花木や草花も植えられているようでした。

桜並木で有名な目黒川沿いにあり、ぜひ来年の桜の季節に再度訪れてみたいと思いました。

「ほうき草を使った素敵な壁飾り」研修会

日時：12月4日（木）13：30～15：30

講師：山本君子さん 華表静子さん（会員）

参加人数：20名

- * * 参加者から一言 * *
- * 新年の壁飾りにしたら、家族に褒められ嬉しかった。
- * 一輪でも家に花があるとホッとします。
- * 同じ材料なのに、一人ひとりそれぞれ！
- * お寺の境内にあるほうき草の変身にびっくり！！ 手先を使う事も大変良いです。
- * 残りの材料で もう一つ作り友達にあげて 大変喜ばれました。
- * 友人に背中を押されての参加でしたが、久しぶりに良いひと時を過ごせました。
- * 参加者の笑顔が素敵で 男性の作った作品も見事！個性あふれる作品が出来ました。



会員研修「スカシユリと千葉の浜辺の植生」

日時：12月11日（木）14：00～15：30

講師：由良 浩さん（千葉県中央博物館 生態学・環境研究科長）

参加人数：26名

海岸の砂礫地や崖などに生えるオレンジ色のスカシユリ。かつて、埋め立て前の稲毛海岸でも見る事が出来たそうですが、現在は、千葉県版絶滅危惧種に指定され、南房総の一部の海岸で見られるだけです。本当に、自然破壊に心が痛みます。

同様に稲毛海岸に自生していた、「ハマヒルガオ」の植生の復元に10年前からプロジェクトが立ち上がり、多くのボランティアの皆さんが協力し、生息域を広げ初夏にはピンクの可愛い花を咲かせています。

スカシユリの育成は難しいというお話でしたが、ヨットハーバーから稲毛の浜に続いている松林にオレンジ色がゆれる姿を夢見てしまいます。



『2015日本フラワー&ガーデンショウ』の事前研修会

日時：2月26日 10:00～12:00

参加者：15名



4月10日から12日の3日間、『2015日本フラワー&ガーデンショウ』が幕張メッセにて開催されます。花びと会は、特別協力団体として、千葉市ブースの交流コーナーにて、来場者に「フラワーアレンジメント」の体験をして頂く予定です。花びと会の活動もパネル展示をします。ぜひ、会員の皆さまも会場に足を運んでください！！

千葉市民会館花壇 ～今年度最後の植込み～

斉藤 美智子

12月19日、市民会館入口の花壇に4回目の植え替えをしました。前日までは、厳しい寒波で心配しましたが、当日は冬晴れのガーデニング日和でした。

9時前から会員さんが集まり、古い植物を全部抜き取り、小石を拾い、土をふるい整地をしました。一連の作業は、手際よく一丸となって「チーム花職」のようでした。(笑い!).....



30メートル花壇には、中心にユーサイラン、シロタエ菊を半円状に植え、その周りに色鮮やかなパンジーを300株植えました。八基のプランターには、様々な葉形や色合いの葉ボタンを四角いケーキ状に植えこみました。真上から見ると生クリームたっぷりの大型箱ケーキの様です。(美味しそう!!)

花の少ない冬の季節に、市民会館の前が一足早い春の装いです。作業後みんなでお茶を飲みながら、しばし花壇を鑑賞しました。寒い中ご協力ありがとうございました。

♥植込み後、花がら摘みや水かけの作業をしておりますと、通りすがりの方から「いつも綺麗に咲いていてここを通るのが楽しみです」と声をかけられます。こんな温かい言葉に励まされ北風に負けず作業に励んでおります。

個人会員&賛助会員 募集!

花や緑に関心のある方一緒に活動しませんか。千葉公園大賀ハスを観る会を企画運営したり個人のスキルアップ講座、講演会を開催しています。

個人会員・団体会員：年会費：1,000円
賛助会員 年会費：個人 1口1,000円
企業 3口以上



花とひとのネットワーク実行委員会
事務局「千葉市都市局公園緑地部緑政課」
Tel043-245-5753 Fax043-245-5885